

ビジネスプランシート

記入例

〔令和〇 年 〇 月 〇 日作成〕

事業実施期間		会社名（屋号）ビストロ居酒屋モミジヌ	
交付決定日～	令和7年12月31日	代表者氏名 〇〇〇	

1 創業の動機

(なぜ創業するに至ったのか、その想いや動機について記載してください。)

昔から料理が好きで、自分のお店を持つのが夢でした。調理師学校卒業後、ホテルや料理店で経験を積みました。前勤務先では新店舗の責任者を任せられ、軌道に乗せた実績があります。1年前から開業準備していたところ、地元の箕面市で理想の物件が見つかり、また、家族の後押しもあったので開業を決意しました。9月にオープンする予定です。

2 略歴等

(学業や勤務先で得たスキル、任された業務、役職等について具体的に記載してください。)

年 月	内 容
〇〇年〇月～	〇〇調理師学校卒業(在学中、居酒屋〇〇でアルバイト)
〇〇年〇月～	〇〇ホテル8年勤務。調理を担当
〇〇年〇月～	日本料理のスキルを身に着けたく割烹〇〇転職。3年間勤務。ホール兼調理を担当
〇〇年〇月～	イタリアン〇〇転職。5年勤務。3年前に〇〇店立ち上げの責任者となる
〇〇年〇月～	退職
現在、〇〇調理師学校の特別講師として週一回の講義を任されている	
特定創業支援等事業 受講状況	<input checked="" type="checkbox"/> 箕面商工会議所のセミナーを受講し、箕面市から証明書を発行してもらっている
	<input type="checkbox"/> 箕面商工会議所のセミナーを受講中、または、受講する予定である
	<input type="checkbox"/> 箕面商工会議所のセミナーを受講しない
開業の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 提出済（開業又は登記日：2025年7月） <input type="checkbox"/> 予定（開業又は登記予定日： ）
取得資格	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 有（調理師免許（〇年取得）・ふぐ処理免許（〇年取得） ）

3 ビジネスモデル

事業内容	・箕面市〇〇周辺の会社員及び家族に、一流ホテルで修業した料理人の創作料理を提供する。 ・「地元の人たちの憩いの場」として愛されるリーズナブルなビストロをめざす。		
商品・サービス	・昼 日替わりランチ 1000円、夜 アラカルト 400円～2000円、ドリンク 300円～2000円 ・「新鮮魚の箕面ゆずカルパッチョ」「シェフのてづくりハンバーグ」を主力商品にする。		
経営課題	①お店を知ってもらうこと、②常連客を得るまでの間の集客活動、③そのための資金		
客単価(飲食・小売等)	4,000円	受注(販売)単価(建設・製造等)	万円 ～ 万円
営業日数(月)(飲食・小売等)	26日	定休日(飲食・小売等)	月曜日
		営業時間(飲食・小売等)	11:30～22:30
顧客ターゲット	・ランチ(14時迄):30代～50代の〇〇周辺の会社員や家族、夜(18時open):〇〇周辺の家族 ・「大手チェーン店にはない、美味しい料理やお酒をリーズナブルに楽しみたい」という人 ・地元愛の強い箕面市民に、箕面のゆずを使った料理を提供する		
想定する競合	200mほど離れた国道沿いに「ステーキ〇〇」「寿司〇〇」があるが、当店とコンセプトが異なる。		
市場の動向	客足はコロナ以前に戻っている。一方、人出不足が深刻。アルバイトを確保できず、店を開けることができない店舗が増えている。		
強み (競合優位性)	①常時50品以上の豊富な創作料理。近隣に同様のビストロはない。②「①」を実現させる仕込み力。これまでの経験・技術で習得。③小さなお店なので、妻とアルバイト1名で運営可能。④店主は料理を人に教えることが得意。⑤妻が栄養士。		

4 経営方針（「3 ビジネスモデル」を踏まえた上で記載してください）

当店のビジネスモデルは箕面〇〇の方たちに常連になってもらうことで成り立つ。よって、地域住民の方たちとの絆づくりに重きを置き、はじめて来てくれたお客様と関係性を深めて、リピーターを増やしていくことが方針。

5 補助金を活用して実施するプロジェクト

プロジェクト名	親子料理教室で絆づくり！		計画策定支援者	署名 〇〇〇〇
具体的な取り組み内容	・箕面〇〇の人たちに当店の存在を知ってもらうために、イベントを実施します。「教えることが得意」「妻が栄養士」の強みを活かし、親子にむけた料理教室を9月～11月にかけて三回開催します。(少人数制・参加費無料)			
	・チラシとSNSでお店とイベントを広告宣伝します。チラシはアプリ(CANVA)を使って作ります。ポスティングは業者をお願いします。SNSはママ世代が最も活用しているインスタグラム広告を打ちます。当店をもっと知りたいと思ってくれた人のために自社ホームページも作成します。			
	・料理教室は、「お米の炊き方」「おむすび」「みそ汁」という基本的なレシピです。栄養バランスをはじめ食に関する知識を子どもたちに習得してもらいます。授業の最後に、シェフ特製の「箕面ゆずドルチェ」をふるまいます。			
	・レッスンの模様はリール動画等でインスタ投稿し、認知度をあげます。また、ママたちにも投稿のご協力をお願いします。			
効果	・チラシとSNSの広告、ホームページによって当店の認知度を高めることができます ・イベントを通して地域住民の方たちと絆ができ、受講者の再来店や、クチコミ・紹介につながります ・この取組をきっかけに、来ていただいたお客様に常連になってもらい、一年後、ランチのお客様を(1日あたり)6名、夜平日のお客様を4名、夜週末のお客様を10名増やします。			
本プロジェクトの内、補助金で実施する経費		別添「経費明細表」の通り		

☆ 10pt以上のフォントサイズでA3サイズに収めてください。手書きでも構いません。  
必ず申請者自身で作成してください。

☆ 「記載方法」「記載例」を参考に作成してください。

☆ 提出には箕面商工会議所が認めた計画策定支援者の署名が必要です。

6 地域課題解決加点

(本プロジェクトが地域課題の解決につながる場合は、その理由について記載してください。)

箕面市のホームページを調べると、食育が課題とあります(「みどりまちづくり部箕面産と食の推進室」のページより)。料理教室イベントは、子どもたちが、食べること・作ることなど「食」に関わる活動を通して、食への興味・関心を深めるための取組なので、地域課題の解決につながります。

7 地域魅力向上加点

(本プロジェクトが地域の魅力向上につながる場合は、その理由について記載してください。)

料理教室の最後に、箕面の実生ゆずを使ったドルチェをふるまうことで、箕面には魅力的な特産品があることをママと子どもたちに知ってもらいます。

8 開業に必要な資金と調達方法（開業後1年以上経っている方は「★」の箇所のみ記載してください。)

必要な資金		金 額	調達の方法	金 額	
設備資金	店舗、工場、機械、車両など (内訳) ・店舗工事 ・厨房機器 ・備品(テーブル、椅子、等) ・保証金	小計 720 万円 380 120 120 100	自己資金  親、兄弟、知人、友人等からの借入 (内訳・返済方法) 父・1年後から可能な範囲で返済 (無利息)  金融機関からの借入 (内訳・返済方法) 日本政策金融公庫 元金6.6万円×84回	300万円  70万円  550万円 550	
	運転資金	商品仕入、経費支払資金など (内訳) ・仕入れ ・家賃 ・広告宣伝等諸経費	小計 200 万円 60 40 100		
	★	補助金対象経費 金額は「経費明細表」の(1)を転記すること	40 万円	補助金交付されるまでの資金調達方法 <input checked="" type="checkbox"/> 自己資金 <input type="checkbox"/> 借入等	40 万円
	合 計 (右の合計と一致します)		960	合 計 (左の合計と一致します)	960

9事業の見通し(月平均)

	創業当初	プロジェクト実施 1年後	売上高、売上原価(仕入高)、経費を計算された根拠をご記入ください。 ※個人事業の場合、事業主分は含めません。
			(創業当初)
売 上 高 ①	191万円	270万円	①売上高(月曜定休) 昼(火～日)1,000円×15人×26日=39万円 夜(日～木)4,000円×10人×18日=72万円 (金、土)4,000円×25人×8日=80万円
経 費	人件費(※)	50万円	②原価率 35%(勤務時の経験から) ③人件費 専従者(妻)給与 10万円 アルバイト2人 時給1,300円×12時間／日×26日=40万円 ・アルバイトは〇〇調理師学校の学生を採用済 ・「広告宣伝」はチラシ等、「その他」は光熱費等
	家 賃 (任意記入)	15万円	
	告 告 宣 伝	3万円	2万円
	そ の 他	35万円	45万円
	合 計③	103万円	122万円
利益 ①－②－③	21万円	53万円	(プロジェクト実施1年後) ①の根拠は「5」の「効果」の通り ②当初の原価率を採用 ③人件費 アルバイト1名を正社員にキャリアアップ 10万円増 広告宣伝 口コミ、紹介を主としたいので広告費は減らしていく その他諸経費 光熱費等10万円増

10 自由記述欄

(本プロジェクトにおける自社ならではの工夫等、審査員にアピールしたいことがあれば記載してください。)

インスタ広告やCANVAについては、箕面商工会議所の〇〇さんに教えてもらいました。引き続き、チラシの魅せ方など、効果的な営業方法について〇〇さんに助言をもらい、お店を軌道に乗せます。  
・将来、社員が育てば、2店舗目や商品開発(テイクアウト商品、ふるさと納税返礼品等)も考えています。  
・事業規模が一定の規模になれば、法人化しますので、雇用の創出等を通して箕面市に貢献ができると思います。

ビジネスプランシート（様式2） 審査ポイント

[令和 年 月 日 作成]

事業実施期間	
交付決定日～ 令和7年 月 日	

1 創業の動機

(なぜ創業するに至ったのか、その想いや動機について記載してください。)

創業後の困難を乗り越える原動力になる強い動機があるか

2 略歴等

(学業や勤務先で得たスキル、任された業務、役職等について具体的に記載してください。)

年 月	内 容
	・事業に必要なノウハウ・経験を身に付けてきたか
	・勤務時代に培った人脈や信用が、ビジネスに活かせるか
特定創業支援等事業 受講状況	受講者及び受講予定者は加対象とする
開業等の状況	補助金交付に必須
取得資格	経営上の強みとなりうる資格を所有しているか

3 ビジネスモデル

事業内容	自社のビジネスモデル（「誰に」「何を」「どのように」）を簡潔に言語化できているか		
商品・サービス	自社が提供する製品やサービス等の特長について簡潔に言語化できているか		
経営課題	自社の経営課題を明確に把握できているか		
客単価(飲食・小売等)		受注(販売)単価(建設・製造等)	万円 ～ 万円
営業日数(月)(飲食・小売等)		定休日(飲食・小売等)	営業時間(飲食・小売等)
顧客ターゲット	ユーザー（お客様）が明確か		
想定する競合	競合他社の状況を把握しているか		
市場の動向	市場（業界）の特性を把握しているか		
強み (競合優位性)	他社と比べて優位な立場を築き、持続的な成功を達成する能力（いわゆる「強み」）があるか		

4 経営方針（「3 ビジネスモデル」を踏まえた上で記載してください）

経営方針が、「3」で述べてきた経営上の強みや対象とする市場の特性を踏まえたものか。

5 補助金を活用して実施するプロジェクト

プロジェクト名	簡潔に20文字程度で示すこと	計画策定支援者	署名
---------	----------------	---------	----

具体的な取り組み内容

本プロジェクトは、以下の4つを満たすかどうか

①必要である、②有効である、③実現可能性が十分に高い、④市内で取り組む事業である

効果

本プロジェクトを行うことにより、売上げ、取引などに効果があるか。

本プロジェクトの内、補助金で実施する経費	「経費明細表」が明確で、必要な金額を積算しているか
----------------------	---------------------------

☆	10pt以上のフォントサイズでA3サイズに収めてください。手書きでも構いません。 必ず申請者自身で作成してください。		
☆	「記載方法」「記載例」を参考に作成してください。		
☆	提出には箕面商工会議所が認めた計画策定支援者の署名が必要です。		

6 地域課題解決加

点(本プロジェクトが地域課題の解決につながる場合は、その理由について記載してください。)

補助対象事業が箕面市の地域課題を解決し、地域経済の活性化や市民の満足度向上等につながるものである場合、加対象とする

7 地域魅力向上加

点(本プロジェクトが地域の魅力向上につながる場合は、その理由について記載してください。)

補助対象事業が箕面市の魅力を向上させ、市民の愛着度向上等につながるものである場合、加対象とする

8 開業に必要な資金と調達方法

(開業後1年以上経っている方は「★」の箇所のみ記載してください。)

必要な資金		金 額	調達の方法	金 額
設備資金	店舗、工場、機械、車両など (内訳) ・開業に必要な資金を試算できているか ・生活費と事業資金を区別できているか ・開業のために資金を貯めてきたか	万円	自己資金	万円
			親、兄弟、知人、友人等からの借入 (内訳・返済方法)	万円
			金融機関からの借入 (内訳・返済方法)	万円
運転資金	商品仕入、経費支払資金など (内訳)	小計 万円		
★	補助金対象経費 金額は「経費明細表」の(1)を転記すること	万円	補助金交付されるまでの資金調達方法 □自己資金 □借入等	万円
合 計 (右の合計と一致します)			合 計 (左の合計と一致します)	

9事業の見通し(月平均)

	創業当初	プロジェクト実施 1年後	売上高、売上原価(仕入高)、経費を計算された根拠をご記入ください。 ※個人事業の場合、事業主分は含めません。	
経費	売 上 高 ①	万円	万円	(創業当初) 積算根拠は妥当か
	売上原価② ( 仕入高 )	万円	万円	
	人件費(※)	万円	万円	
	家 賃	万円	万円	
	(任意記入)	万円	万円	
	そ の 他	万円	万円	(プロジェクト実施1年後) ①の根拠は「5」の「効果」の通り
	合 計③	万円	万円	
利益 ①－②－③	万円	事業として成立する 利益額であるか		

10 自由記述欄(本プロジェクトにおける自社ならではの工夫等、審査員にアピールしたいことがあれば記載してください。)